**HEnDA FR (FR = for Freshman / for Friendship)　イベント**

**＆**

**HEnDAジャッジ講習会**

**＆**

**HEnDA全国大会　「安楽死」モデル・ディベート・質疑応答**

**参加者募集　要項**

主催：　 一般社団法人　全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)

日時：　 2018年8月25日（土）　26日（日）

場所： 中央大学（多摩キャンパス　文学部3号館）

運営： 全国高校英語ディベート連盟　普及委員会

内容

[1．目的・趣旨 1](#_Toc519073209)

[2．スケジュール 3](#_Toc519073210)

[3．会場 5](#_Toc519073211)

[4．参加料・昼食など 5](#_Toc519073212)

[5．参加条件：ジャッジ派遣義務 6](#_Toc519073213)

[6．ジャッジ講習会 6](#_Toc519073214)

[7.　参加申し込み・締め切り・問い合わせ先 7](#_Toc519073215)

[8.　申込フォーム 8](#_Toc519073216)

[参考.　HEnDA FR部門 (FR = For Freshman / for Friendship) 10](#_Toc519073217)

[個人情報の利用目的・取り扱い 12](#_Toc519073218)

# 1．目的・趣旨

このイベントでは，二日間にわたり，ディベート初心者・中級者が，ディベートを学び，しかも全国の生徒さんと親交を深めること(Make Friends!) を目的としております。

同時に，英語教育に英語ディベートを取り入れる担い手となる先生方のためのジャッジの講習会も兼ねたものです（もちろん先生方もMake Friends!）。

25日 A部門は，どちらかというと初心者向けのイベントとなっております。全くの初心者やこれからディベートを初めてみたい学校に，レクチャーとともに，実際に簡単な形式・論題で一試合やってみることになります。

26日 B部門は，多少はルールなどが分かっている初・中級者向けのディベート練習会です。FR形式は試合も短めで論題もやさしめとなりますが，当日のB部門のユニークな特徴としては当日発表型ディベートということです。朝に論題が発表され，何枚かの資料も配付されます。生徒さんが自主的に論題に取り組み，肯定・否定含め3試合を行います。HEnDA形式ならではの特徴である資料のreading，スピーチのwritingも体験できるだけでなく，同じ論題を数試合，両側(switch side)で行うことで，対話的で深い英語ディベートの醍醐味も体験することができます（もちろんMake Friendsも！）

26日午後からC部門として，全国大会の「積極的安楽死」論題でのモデル・ディベートも実施されます。モデルだけ観戦することももちろん可能です。

HEnDA主催の全国高校生英語ディベート大会は，お陰様で年々，都道府県での大会への参加校も増え，質的にもきわめて高いレベルを行うディベートが行われております。HEnDAとしては，この動きをさらに広げるために，初心者から徐々にレベルアップできるFR方式を普及させ，指導者・ジャッジのレベルアップも図りたいと考えております。先生方にとっては，授業やディベートの教え方などについての生きた実験室でもあり，意見交流の場所ともなります。

どうか生徒のみなさまともどもふるってご参加 Make Friendsして下さい。

# 2．スケジュール

## 8月25日（土）

9:30 受け付け開始

10:00 開会

### A部門 ―― FR 初心者講習会＋体験試合

10:15 レクチャー（福井県立藤島高校　三仙真也教諭　予定）

　 初心者向けレクチャー「英語ディベートとはなにか」（仮題）

11:15 ディベートの準備をしてみよう

12:15 　昼休み

13:00 ディベートの試合をしてみよう（一試合　肯定・否定片方のみ）

15:00 生徒交流会（大教室集合）　※交流会の最中にWSDC（世界大会）報告

### Judge A部門―― HEnDAジャッジ講習会A

　英語ディベート経験があまりない教員同士によるディベート試合体験）

　（翌日に行われるFR論題のディベートにチャレンジ）

10:15 「HEnDAディベート・ジャッジングの基本」

　（中央大学　矢野善郎教授　予定）

11:00 チームに分かれての試合準備　（適宜，チーム毎に昼休み）

13:00 ディベートの試合をしてみよう（先生方同士，各先生　肯定か否定一試合）

15:00 ジャッジングについての質疑応答

16:00 終了予定

## 8月26日（日）

9:30 受け付け開始

### B部門 ―― FR 論題当日発表型　3試合

10:00 論題発表，試合にむけての準備

11:00 第一試合

12:00 　昼休み

12:45 第二試合

13:45 第三試合

14:45 参加賞交付・参加生徒による感想会（大教室）

### Judge B部門　HEnDAジャッジ講習会B（FRディベートの体験審査）

10:00 ジャッジング　基本事項の確認

11:00 第一試合～第三試合　（同上）

15:00 ジャッジについての質疑（）

### C部門　全国大会「積極的安楽死」モデル・ディベート

15:30 「積極的安楽死」モデル・ディベート

16:30 全国大会論題についての質疑応答

17:00 　閉会予定

## A部門 ―― FR 初心者講習会＋体験試合

まったくの初心者むけの部門です。午前中にまずはディベートとは何かを考え，試合をするための基本事項についてレクチャーをうけ，準備をしてみます（講義御担当は，昨年大好評であった福井県立藤島高校　三仙真也先生にまたご担当いただける予定）。午後に一試合だけ，ディベート体験を行います（肯定・否定どちらか一方，ランダムに指定）。当日使う，ディベート論題は，当日発表になりますが，きわめてとりつきやすい論題となります（B部門よりも，さらにとりつきやすい論題となります）。他校と交流会もあり，Make Friendsの機会ともなります。

### A部門　チーム構成・参加資格

　1チーム 4人単位を基本とします（4人単位で試合は行うので，午後の体験試合では，その場で他校の生徒とチームを組むこともありえます。下記の通り，各校はジャッジ派遣義務がありますが，ジャッジを8人おきには確保しないといけないので，参加8名を越えるごとにジャッジを1人追加派遣義務が生じます）。

　基本的に，1年生が対象となります。（ただし全くの初心者，とりわけこれからディベートをはじめる学校の生徒は，学年を問いません）

## B部門 ―― FR 論題当日発表型　3試合

論題は当日発表，HEnDA FR（短縮版）フォーマット　肯定・否定　各１試合

B部門は，多少はルールなどが分かっている初・中級者向けのディベート練習会です。FR形式は試合も短めで論題もやさしめとなりますが，当日のB部門のユニークな特徴としては当日発表型ディベートということです。朝に論題が発表され，何枚かの資料も配付されます。生徒さんが自主的に論題に取り組み，肯定・否定含め3試合を行います。HEnDA形式ならではの特徴である資料のreading，スピーチのwritingも体験できるだけでなく，同じ論題を数試合，両側(switch side)で行うことで，対話的で深い英語ディベートの醍醐味も体験することができます（もちろんMake Friendsも！）

注：競争型の大会ではありません（各試合の勝敗はつけますが，総合順位はつけません）

### B部門　チーム構成・参加資格

　1チーム　4-8人　（どの試合に，どの生徒がでるかは自由です。4人を超える場合，一試合だけしか出場できない生徒がでることはご留意下さい。3名の場合は応相談）

　基本的に，事前講習はないので，校内で試合を1回以上は体験したことがある生徒達を想定しています。1年生などを想定しておりますが，1年生だけではチームを組めない場合や，2年生であっても試合経験がほぼない場合，2年生の出場も可能です。

　各校とも，最大で2チームまで（つまり各校試合に参加できるのは，最大生徒16名まで。ジャッジ派遣義務があります。2チーム出場の場合，ジャッジ2名派遣が必要）

※　昨年の論題とは，異なった論題で行います。ただし8/11に岩手で行われるFRイベントとは同じ内容になる予定です。あらかじめご承知置き下さい。

ご参考までに，昨年の例（パンダ論題）については，

<http://henda.global/bc_rma/wp-content/uploads/2018/07/Henda2017panda.docx>

でダウンロードできます。適宜，ご参照ください（教材としてお使いくださっても結構です）

## C部門)　HEnDA全国大会「積極的安楽死」論題モデル・ディベート

　今年度12月に行われる，全国高校生英語ディベート大会 in 福井の論題 “Resolved: That Japan should legalize voluntary active euthanasia.”を用いた，生徒有志によるモデル・ディベートを行います。それを観てのジャッジ講習会を行い，全国大会の論題・大会ルール・審査基準について，質疑応答も受け付けます。（A,B部門に出場した生徒さん・先生方も是非，合流してください）。

　参加制限はありません

# 3．会場

集合： 中央大学　多摩キャンパス

3号館3115教室　3号館2階
（1階にも入り口がありますが，イベント中は妨げとなるので利用不可）

　鉄道： 多摩モノレール線　中央大学・明星大学駅　徒歩3分

　 　（多摩センター駅から15分　立川駅から25分，新宿から70分）

自動車：　駐車可能　――　第三駐車場をご利用下さい
参照　<http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/tama/>

※　事前申請不用，受付で「文学部教授　矢野　3115教室」に用事があると述べ，書類を記入してください。事後に，受付にて押印いたします

# 4．参加料・昼食など

無料（どの部門も）

※　ただし交流会の茶菓代数百円だけ実費徴収もありえます。その場合，参加校に後日連絡

　昼食は各自でご手配してください。集合教室や，各教室での飲食も可能です

　25日のみ中央大学の生協食堂，購買部が開いております

（モノレール駅にコンビニがあり，両日ともあいております）

　交流会では軽食・飲み物を各自持参して歓談する企画を考えております

　（後日　参加者に連絡します）

　ジャッジの派遣に関わる交通費等は，各校でご負担をお願い申し上げます。

# 5．参加条件：ジャッジ派遣義務

　A,B部門に参加する各校は，ジャッジを派遣する義務があります。

A部門――練習試合のために，必ずジャッジを1名以上派遣

　（体験試合をする関係で，参加8名を越えるごとに1人派遣義務があります）

B部門――1チームにつき，必ず1名ジャッジを派遣する。

A,B両部門に参加することも可能ですが，ジャッジはそれぞれの日ごと，別途に派遣していただく義務があります。

### ジャッジ資格

* 1. 社会人または大学生3年以上
	2. HEnDAディベート形式やルール，ジャッジの基本的方法をある程度は理解していること
	3. 試合判定を述べられること（望ましくは英語で）
	4. 顧問やALTなど引率・付き添いの先生方の兼任も可能
	5. 過去のディベート・ジャッジ経験は不問
		+ 生徒に楽しい気持ちで帰っていただけるジャッジングをお願いします！

ジャッジの派遣は，全て各校の御責任でお願い申し上げます。

なおジャッジ講習会A部門にご参加の先生が，生徒のA部門ジャッジを兼ねることはスケジュール的に重なっている関係で無理です。初日のジャッジ講習会Aにご参加の先生が，26日のBでジャッジをされることは，もちろん可能です

# 6．ジャッジ講習会

当日は，生徒イベントと平行し，ジャッジ講習会も行います。

### Judge A部門―― HEnDAジャッジ講習会A

　英語ディベート経験があまりない教員等を対象とします。

英語ディベートをどうやって教えて良いか分からない，どうやって審査すれば良いのか分からない。そういう先生方にとって何よりの出発点となるのは，まずは実際にディベート試合をご自身で体験してみることです。

　25日のジャッジ講習会では，翌日に行われるFR論題のディベートにチャレンジして一試合先生方でチームを組んで試合をしていただきます。（生徒さんとは全く違う部屋で行います！ご安心ください）

10:15 「HEnDAディベート・ジャッジングの基本」

　（中央大学　矢野善郎教授　予定）

11:00 チームに分かれての試合準備　（適宜，チーム毎に昼休み）

13:00 ディベートの試合をしてみよう（先生方同士，各先生　肯定か否定一試合）

15:00 ジャッジングについての質疑応答

### Judge B部門　HEnDAジャッジ講習会B（FRディベートの体験審査）

26日のジャッジ講習会では，やさしい形式・論題であるFR大会の審査に実際に参加し，真剣に審査し，しかもベテランの先生方などと振り返りをすることでジャッジ能力の向上を図ります。

　ジャッジ講習会は，25日のみ，あるいは26日のみの参加も可能です

ただし，まったくの初心者の先生は，25日からの参加をお願いします。

　生徒を引き連れず，先生のみの参加ももちろん可能です

※　このイベントに参加しただけでは，全国大会のジャッジ資格をみたせるわけではありませんが，ルール，論題理解のための重要な機会となります（ジャッジ経験に記載できます）

# 7.　参加申し込み・締め切り・問い合わせ先

　観戦も含め，事前申し込みが必要です。この文書の末尾の「参加申込書」にご記入の上，以下の宛先にメールで添付の上，お送りください。

**henda.fr.entry@gmail.com**

**8月17日（金）　締め切り（厳守）**

### チーム数

　A部門/B部門それぞれ　40チーム程度まで受付（基本的に，先着順となります）

A,B両部門に参加することも可能ですが，ジャッジはチーム毎に別途に派遣する義務があります。

　各校から複数チームの参加も可能ですが，それぞれのチーム毎にジャッジをお願いします。

# 8.　申込フォーム

以下の4種類のフォームの該当する項目を全て記入の上，メール文面にカット・アンド・ペーストとして下さい（Wordファイルは添付不要）。

A,Bに参加しないが，試合風景などを観戦したい場合は，C にご記入下さい。

A部門　FR 初心者講習会 （C部門参加申し込みは不要）

B部門　FR 論題当日発表型 （C部門参加申し込みは不要）

C部門　全国大会 モデル・ディベート（A,Bに参加しない学校はこちら）

Judge講習会　 （C部門参加申し込みは不要）

## A部門　HEnDA FR 初心者講習会　8/25　申し込みフォーム

## 　（あらためてC部門参加申し込みは不要。Cには参加しない場合，御一筆下さい）

##

## ※8名以上の参加を希望する場合，必ず8名を超えるごとに別のジャッジを手配して下さい。

学校名：

都道府県名：

引率者名：

引率者　御身分（例，教諭）：

引率者email：

引率者　携帯：

生徒数（合計）：

ジャッジ名（必須　日本語）：

ジャッジ名（必須 in alphabet）：

ジャッジ 身分（例，教諭，大学3年）：

ジャッジ連絡先（emailか携帯）：

その他特記事項（Cに参加しないなど）：

生徒数が8名を超える場合は，必ずジャッジ情報を複数名分ご記入下さい

## B部門　HEnDA FR 論題当日発表型　8/26　申し込みフォーム

## 　（あらためてC部門参加申し込みは不要。Cには参加しない場合，御一筆下さい）

##

## ※複数チーム（最大でも２）を希望する場合，その旨明記し，以下の書式をコピーし，2チーム分にわけて記載。

　必ずチームごとに別のジャッジを手配して下さい。

※チーム数以上のジャッジ参加ももちろん大歓迎です。

　その場合，ジャッジの情報を複数ご記入ください，お寄せください。

HEnDA FR (8/26) – B部門

学校名：

都道府県名：

引率者名：

引率者 身分（例，教諭）：

引率者email：

引率者　携帯：

生徒数（4-8名）：

ジャッジ名（必須　日本語）：

ジャッジ名（必須 in alphabet）：

ジャッジ 身分（例，教諭，大学3年）：

ジャッジ連絡先（emailか携帯）：

その他特記事項（Cに参加しないなど）：

## C部門　HEnDA 全国大会モデル・ディベート　8/26

## ※　A,Bにもジャッジ講習会にも参加しないが，観戦をしたい場合もこちらでお申し込み下さい

　※　A,Bに参加する学校は，以下には記入しないで下さい

##

学校名：

都道府県名：

引率者名：

引率者　御身分（例，教諭）：

引率者email：

引率者　携帯：

参加者数（教員，生徒合計）：

その他特記事項（A,Bも観戦したいなど）：

## Judge講習会

ジャッジ講習会に参加されたい先生方などは，以下の情報を各人ご記入下さい。

ジャッジ名（必須　日本語）：

ジャッジ名（必須 in alphabet）：

ジャッジ 身分（例，教諭，大学3年）：

ジャッジ連絡先（emailか携帯）：

参加希望部門 講習A部門（25日） ・　B部門（26日） ・　両部門

その他特記事項（参加校のB部門ジャッジを兼ねる場合など）：

# 参考.　HEnDA FR部門 (FR = For Freshman / for Friendship)

2018/7/1

## 趣旨・目的

　HEnDAは，これまでのHEnDA形式ディベートの様々な蓄積を生かし，さらに英語ディベートをはじめたい生徒・学校がとりくみやすく，Make Friendsを実践し，しかも将来の本格的なHEnDAディベートにスムーズにステップ・アップしやすい，「FR(FR = For Freshman / for Friendship)部門」を併設し，普及につとめます。

## 特徴

1. 論題は，初心者にとってとりつきやすいテーマで行う。
a) 大会当日に発表する方式
b) 準備の負担を軽減するために数週間前に発表する方式
など，目的に合わせて考える。
2. HEnDA全国大会フォーマットより，少しだけ短めの試合形式（最初の質疑以外のスピーチを一分短縮。試合時間合計32分）
3. その他の形式やルールは，HEnDAフォーマットと基本的に同じ
4. チームワークを鍛えるために4人制
5. 相手のスピーチ中の発言・質問は禁止。質疑応答を設ける
6. 事実・証拠の使用は，奨励（当日発表型の場合は，資料配付も）
7. 論題は，大会の中では同一。肯定・否定を行う（試合ごとの即興型ではない）
8. 判定は点数制でなく，本大会同様に内容（争点）で
9. 大会形式の例
たいてい一日で終了　2～4試合程度（必ずしも優勝などは決めなくてもよい）
講習会と組み合わせることもある
10. ジャッジは，各校に派遣義務を課す　それによりジャッジ研修の機会ともする
例えば8人登録，出場選手が毎試合異なるなど，参加の自由度を高める

## 論題例　（8/26のイベントで使うものとは異なります）

* 「日本の高校生の修学旅行は（国内ではなく）海外に行くべきである」
Japanese high school students should go to school trips in foreign countries.
* 「高校生以下のスマートホンの所持を禁止すべきだ」
Owning smartphones should be banned for students who are still in high schools or under.
* 「日本は，オーストラリアのように選挙の棄権者を罰するべきだ」
Japan should follow Australia and penalize those who didn’t vote on elections.
* 「日本の高校は，制服を廃止（導入）すべきだ」
Japanese High schools should abolish (introduce) school uniforms.
* 「高校生のアルバイトは短時間なら許容すべきだ（禁止すべきだ）」
High school students should (not) be allowed to have a short-hour part time job.
* 「日本の動物園は，パンダの飼育をやめるべきだ」
Japanese zoos should stop keeping giant pandas.

## FR試合形式　8/25・26　A,B部門で使用予定　※

|  |  |
| --- | --- |
| * 1. 肯定　立論Affirmative Constructive Speech
 | 3分 |
| 　　　　準備時間Preparation Time  | 1分 |
| * 1. 否定　質疑Questions from the Negative
 | 2分 |
| * 1. 否定　立論Negative Constructive Speech
 | 3分 |
| 　　　　準備時間Preparation Time  | 1分 |
| * 1. 肯定　質疑Questions from the Affirmative
 | 2分 |
| 　　　　準備時間Preparation Time  | 2分 |
| * 1. 否定　アタックNegative Attack
 | 2分 |
| * 1. 肯定　質疑Questions from the Affirmative
 | 1分 |
| * 1. 肯定　アタックAffirmative Attack
 | 2分 |
| * 1. 否定　質疑Questions from the Negative
 | 1分 |
| 　　　　準備時間Preparation Time  | 2分 |
| * 1. 肯定　ディフェンスAffirmative Defense
 | 2分 |
| * 1. 否定　ディフェンスNegative Defense
 | 2分 |
| 　　　　準備時間Preparation Time  | 2分 |
| * 1. 肯定　総括Affirmative Summary
 | 2分 |
| * 1. 否定　総括Negative Summary
 | 2分 |
| 計 | 32分 |

各スピーチともほぼ，1分ずつ短縮されています。

ルール，スピーチの役割などは，全国大会と変わりません。

※　FR形式については，今回のイベントを承け，さらに改良を進めていく予定です

# 個人情報の利用目的・取り扱い

2018年8月25・26日付けディベート・イベントの参加申し込みフォームにご記入いただく内容は，大会前後の連絡，及び今後のディベート教育普及を図るために当連盟内の会議などで利用することがあります。取り扱いについては情報の安全に十分に配慮し，厳重に取り扱います。

本イベントについては，新聞等の取材や，ホームページで公表させていただくことがあります。あらかじめご了承下さい。また当連盟で許可をした組織・団体（主催・共催団体等）によるＶＴＲ・写真撮影およびその映像・写真の利用による活用をご了承いただきたいと考えております。個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは，申し込み同様，下記の窓口にて承ります。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人全国高校英語ディベート連盟　普及委員会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電子メール アドレス : **henda.fr.entry@gmail.com**

**8月18日（金）　申し込み締め切り（厳守）**